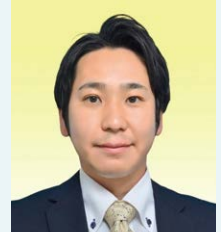




FACE DUO

MySCUEでは、シニアケアの負担と不安を軽くすることを目的に、現在ケアをしている方から、これから備える方まで、必要なタイミングで必要な情報や商品、サービスと出会える店舗づくりを目指しています。また、単に商品を提供するだけでなく、シニアケアに関する情報発信や体験機会の提供を通じて理解を深め、そのうえで適切な商品やサービスの選択につなげる価値提供を重視しています。一方で、認知症ケアという言葉だけでは伝えることが難しい部分があることに課題を感じていました。そこで、VRを用いることでお客さまにもわかりやすく伝えることができるのではと考え、2024年よりFACEDUOを導入しています。

イオンリテール株式会社 経営企画本部 MySCUE (マيسキュー) 事業部 金井 勇太 様



FACEDUOの活用 ~店舗常設からイベントまで、FACEDUOを多面的に活用~

店舗常設での活用

MySCUEのイオン品川シーサイド店、イオンモール大日店の2店舗ではFACEDUOを常設し、お客さまがいつでも体験できる環境を整えています。これにより、日常の来店の中で認知症ケアに触れる機会を創出し、**月間約50名が体験**するなど、継続的な啓発につながっています。



店舗常設

接客ツールとしての活用

FACEDUOは、単なる体験コンテンツとしてだけでなく、接客の中で活用されることにより、お客さまとのコミュニケーションを深めるツールとしても機能しています。

従業員からは、

- 「認知症ケアをわかりやすく伝えられるため接客しやすい」
- 「操作が簡単でシニアの方にも案内しやすい」

といった声があり、現場での活用のしやすさにつながっています。



店頭体験

店舗イベント・認知症カフェでの活用

店舗では定期的にFACEDUO体験イベントを開催しており、お客さまが興味を持って参加するきっかけづくりとなっています。

また、認知症カフェにおいてもFACEDUOを活用することで、参加者同士の会話が活発になり、交流の場としての価値向上にもつながっています。

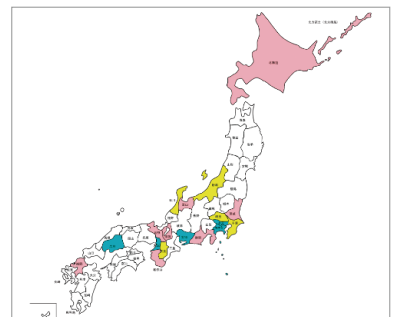
このように、イベントでは「**伝えるツール**」として、カフェでは「**交流を促すツール**」として、場面に応じた活用が行われています。



伝えるツール



交流ツール



1/19(金)~	1/21(日)	イオンモール広島府中
2/3(土)~	2/4(日)	イオンモールナゴヤドーム前
3/16(土)~	3/17(日)	イオンモール堺北花田
4/27(土)~	4/29(月)	イオン葛西店
5/25(土)~	5/26(日)	イオンスタイル天王町
6/14(金)~	6/16(日)	イオンモール浦和美園
7/6(土)~	7/7(日)	イオンモール茨木
8/3(土)~	8/4(日)	イオンモールかほく
9/21(土)~	9/23(月)	イオンモール柏
10/12(土)~	10/14(月)	イオンモール新潟南
11/2(土)~	11/4(月)	イオンモール熱田
11/16(土)~	11/17(日)	イオンモール大和郡山

全国イベント・提携施設イベントでの活用

MySCUEでは、全国のイオンモールで開催されるイベントにおいて、FACEDUO体験ブースを設置しています。

年間約12会場、累計1200名以上が体験しており、店舗内にとどまらず、広域で認知症ケアの理解を促進する取り組みへと広がっています。

体験者・従業員の声 ～体験を通じて、理解・共感・会話が生まれる～

体験者からは、

- 「認知症の方への接し方を学びたいと思い体験した」
- 「認知症ケアの大切さを改めて実感した」

といった声が寄せられています。



また従業員からも、

- 「接客の中で説明しやすい」
- 「体験時間が選べるため案内しやすい」

といった実務面での評価があり、運用のしやすさにもつながっています。



今後への期待 ～店舗から全国へ、シニアケアを考えるきっかけを広げていく～

MySCUEでは、店舗常設、接客、イベント、認知症カフェ、全国展開といったさまざまな場面でFACEDUOを活用し、認知症・フレイル・熱中症などのシニアケアの理解促進に取り組んでいます。

今後は、これらの取り組みを通じて体験機会をさらに広げることで、来店時の気づきを日常生活での行動や選択につなげ、一人ひとりがシニアケアを自分ごととして捉えるきっかけづくりを推進していきたいと考えています。

活用中のプログラム 認知症ケア支援VR / フレイル予防支援VR / 熱中症対策VR

認知症ケア支援VR

認知症の方と介護者それぞれの目線で場面を体験しよりよい接し方を学ぶ



介護者が戸惑った場面を体験する。

自身の行動を相手の主観で体験することで「気づき」を得られるVRの特徴を生かし、介護者が「認知症の方の行動と気持ち」を体験を通じて理解し、接し方の工夫(きっかけと対応を変える)などを学びます。

フレイル予防支援VR

高齢者向け日常生活に潜む小さなサインを体験で学び、未来の健康を守るためのVRプログラム



高齢者、介護教室参加者、施設利用者向けフレイル(加齢による心身の虚弱)の兆しを、VRで体験する。

フレイル予防支援VRでは、加齢にともない起こる心と体の衰え——「フレイル(虚弱)」の状態をリアルに体験できます。握力の低下や歩行の衰え、むせやすさなどの変化を自分ごととして感じることで、早期の気づきと予防行動につなげていきます。

熱中症対策VR

見逃されがちな初期症状や判断の遅れを体験し、早期の気づきと行動を考えるきっかけを提供するプログラム



伝えているのに、行動が変わらない。その“理由”を理解する。

高齢者の熱中症対策の現場では、「エアコンを使ってください」「こまめに水分を」と伝えても、行動につながらないことがあります。その背景には、年齢とともに暑さや喉の渇きを感じにくくなることに加え、体に現れている変化を、熱中症のサインとして捉えられていない状態があります。VR体験を通して、症状が熱中症のサインであることを理解することで、早期の対応と行動の変化につながります。

詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!

2026年6月作成
FD2606002